

全建発第15～105号  
平成15年6月20日

行政機関の長 殿  
土木等部門の長 殿

社団法人 全日本建設技術協会  
会長 鈴木道雄



#### 第476回建設技術講習会（これからの建設事業）開催のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員約10万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力向上が求められております。

このたびの第476回建設技術講習会では、「これからの建設事業」をテーマに、公共事業に対するさまざまな議論を踏まえ、これからの建設事業をどのように構築するのか？現場担当者の意識改革を支援するための「事業評価」のあり方をはじめ、説明責任の向上方策、住民との協働、広報への取り組みなど、これからの建設事業に向けた新しい施策展開について、本省各局の幹部から直接情報を得ることを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬 具



全建発第14～249号  
平成15年1月6日

社団法人 全日本建設技術協会  
研修委員長 北橋 建治  
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



### 平成15年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただいております。厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められます。例えば、平成13年4月から適用された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、国、特殊法人等及び地方公共団体は、「職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」の果たすべき役割は従来にも増して一層重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成15年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

# 地方協会長殿



社団法人 全日本建設技術協会  
会長 鈴木道雄

## 第476回建設技術講習会（これからの建設事業）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成15年8月20日（水）～8月22日（金）、宮城県仙台市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では「公共事業に対する様々な議論を踏まえ、これからの建設事業をどのように構築するのか？現場担当者の意識改革を支援するための「事業評価」のあり方をはじめ、説明責任の向上方策、住民との協働、広報への取り組みなど、これからの建設事業に向けた新しい施策展開について、本省の幹部から直接情報を得る」ことを目的としています。

なお、本講習会は国土交通省の後援を受けております。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴講料：正会員・特別会員・賛助会員..... 7,600円〔うち昼食代1,600円(2日分)〕  
非会員.....12,600円〔 " " 〕  
(聴講のみの参加も受付けます)

現場研修料：..... 6,000円〔うち昼食代1,200円〕  
(現場研修のみの参加はお断りしております)

申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金を添えて期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。

申込金が同封されていないか、銀行振込の(写)が添付されていない場合は受理できません。

また、講習会当日、会場での追加申込は原則として受付いたしません。

申込書送付先：社団法人 全日本建設技術協会 事業課 ☎03(3585)4546  
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ランディック藤井ビル7F

振込銀行口座：東京三菱銀行赤坂見附支店 普通預金口座 0311142

口座名義：社団法人 全日本建設技術協会

お振込の際は、振込名義の前に、開催回数の「476」をつけ加えて下さい。

申込締切日：平成15年7月22日（火）必着（締切日以降に到着したものは受理しませんので、お申込みが締切日直前となる場合は、必ずご連絡下さい。）

取り消し・返金について

申込期限後の取り消しについては、返金できません。ただし、公務上緊急の都合による場合に限り、下記のように処理いたします。なお、返金及び欠席者のテキストは講習会終了後に、所属協会宛にお送りいたします。

### 【返金方法】

平成15年8月8日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成15年8月15日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金いたしません

テキスト・聴講券及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は両日、講義終了後お渡しします。なお、受講される場合、会場内では聴講に相応しい服装でご参加願います。また、事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に現場研修時は一切お断りします。

講習会の予定(日程、テーマ等)については、全建ホームページもご覧下さい。<http://www.zenken.com/>

# 第476回建設技術講習会（これからの建設事業）日程

公共事業に対する様々な議論を踏まえ、これからの建設事業をどのように構築するのか？現場担当者の意識改革を支援するための「事業評価」のあり方をはじめ、説明責任の向上方策、住民との協働、広報への取り組みなど、これからの建設事業に向けた新しい施策展開について、本省の幹部から直接情報を得る

聴 講.....平成15年 8月20日（水）、21日（木）  
 現場研修.....平成15年 8月22日（金）  
 会 場.....仙台市民会館 大ホール  
 〒980-0823 仙台市青葉区桜ヶ丘公園4-1  
 TEL 022-262-4721

1日目 8月20日（水）			
10:00	あいさつ	宮城県知事	浅野 史郎
10:20	〃	仙台市長	藤井 黎
10:30 12:00	21世紀の日本の社会基盤整備の課題と方向	国土交通省大臣官房技術調査課 課長	北橋 健治
13:00 14:00	地域づくりに関する最近の動き	国土交通省総合政策局 事業総括調整官	大平 一典
14:10 15:10	今後の都市整備のあり方について	国土交通省都市・地域整備局 街路課 課長	竹内 直文
15:20 16:20	官庁営繕行政について	国土交通省大臣官房官庁営繕部 営繕計画課 課長	奥田 修一
16:20	【現場研修事業の紹介】		
16:20 16:40	仙台城石垣修復工事	仙台市建設局百年の杜推進部 青葉山公園整備室 主幹	宮城 重通
16:40 17:00	吉田川二線堤工事	国土交通省北上川下流河川事務所 事業計画課長	佐藤 隆志
2日目 8月21日（木）			
9:50 10:50	住宅・建築行政の課題と今後の展望	国土交通省住宅局住宅総合整備課 課長	村岸 明
11:00 12:00	今後の港湾行政について	国土交通省港湾局開発課 課長	岩瀧 清治
13:00 14:00	道路行政における最近の話題	国土交通省道路局国道・防災課 課長	中島 威夫
14:10 15:10	河川行政の政策課題と今後の展望	国土交通省河川局河川計画課 課長	甲村 謙友
15:10	閉会のあいさつ	宮城県建設技術協会会長	久保 浩
地域の独自調査			
【現場研修】 3日目 8月22日（金）			

勾当台公園（県庁・市役所前広場）（8:30）出発 → 青葉城址・仙台城石垣修復工事  
 → 仙台宮城 IC → 東北自動車道 → 大和 IC → 鹿島台町・吉田川二線堤工事  
 → 国道346号 → 明治潜穴（車中見学） → 昼食（松島町内）（12:00～13:00）  
 → 松島海岸 IC → 三陸自動車道 → 仙台東部道路 → 仙台空港 IC  
 → 仙台空港・仙台空港アクセス鉄道計画説明 → 説明後、仙台空港（14:50）解散  
 → JR 仙台駅（15:30）着後解散

上記講習会日程は都合により、講師、講義内容、現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

## 第476回建設技術講習会「現場研修主な立ち寄り先の概要」

### 1. 青葉山公園仙台城石垣修復工事.....仙台市青葉区川内

仙台城本丸は、仙台初代藩主伊達政宗が慶長5年(1600年)に築城を開始し、慶長7年(1602年)に一応の完成をみたと言われている。現存する石垣は築城後2度の大地震の被害を受け寛文8年(1668年)以降に作られた3代目の石垣と言われている。そのため老朽化が進み石垣の変形や石材の破損が目立つようになってきた。本修復工事は石垣全体を解体・積み直しにより修復することとした。全体石積10,000個のうち平成15年3月末現在で4,000個が完了している。

石垣修復工事にあたっては、できるだけ築城期の石垣の姿の復元を目指しており、そのために往時の伝統工法を活かしながら専門の石工職人の手により1石1石慎重に積み上げ、かつ将来にわたる石垣全体の安全性確保にも配慮しながら進めている。

### 2. 吉田川二線堤工事.....宮城県志田郡鹿島台町

昭和61年8月の大洪水での被害を教訓として、地域が大洪水に陥っても被害を最小限にとどめられるような枠組みを求めため、国土交通省では昭和63年に鹿島台町・大郷町・松島町の被災地域を全国初のモデル地区に指定し、「水害に強いまちづくりモデル事業」をスタートした。

二線堤は、万一洪水で河川が氾濫した場合、氾濫水による被害を最小限にとどめるためにつくられる第二の堤防であり、救援や復旧活動等のための通路でもある。二線堤は道路機能も兼ねられることから、市街地の交通渋滞解消として計画されていた国道346号鹿島台バイパスとの兼用道路として計画され、河川管理者(国)と道路管理者(県)が共同で事業を行う。

進捗状況については、バイパス区間の二線堤4,120mの盛土を施工しており、圧密促進中である。また、北側国道346号二線堤バイパスの0.4km区間が平成14年11月に部分供用を開始している。

### 3. 仙台空港アクセス鉄道.....名取市下増田

仙台空港へのアクセスは、車に依る方法しかなくその所要時間は仙台市内から通常で40分である。

仙台空港線整備計画は空港までのアクセス手段として、定時性、速達性、広域性に優れ、かつ大量輸送が可能な鉄軌道系アクセスを整備することにより、空港利用者の利便性の向上と東日本の拠点空港としての仙台空港の充実を図るとともに、仙台空港臨空都市整備の促進に寄与するために計画された。

新線区間はJR東北線名取駅から仙台空港駅(仮称)の約7.1km(営業扣)で、JR東日本との相互乗り入れを予定している。完成すればJR仙台駅からの所要時間は快速で17分となり現在の車利用の場合に比較すると23分の短縮効果となる。しかも渋滞などに左右されない確実な時間内のアクセスを可能とするため、仙台空港の利用も拡大される見込みである。現在は直轄事業で仙台空港敷地内本體工着手前の仮設工事を施工中である。

同時に進行している仙台空港臨空都市整備基本計画は仙台空港の地域拠点空港としての位置づけを活かし、アクセス鉄道や道路整備を契機とした名取市、岩沼市の都市整備二ーズや、地域の自然環境等との融合した、臨空都市としての調和ある地域整備を目指している。

## 第476回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

- 宿泊料金：宿泊希望者には仙台市内のホテルを別記のとおり斡旋いたします。  
 斡旋する宿舎のロケーション等を確認のうえ申し込んで下さい。
- 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
- 宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
- 送金先：㈱日本旅行 東京法人営業部 ☎03(3593)0321 FAX 03(3593)0688  
 銀行口座 三井住友銀行日比谷通支店 普通預金口座 2994790  
 〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1（ニュー新橋ビル9F）  
 お振込の際は、振込名義の前に「476」とつけ加えて下さい。

### 取り消し・返金について

平成15年8月8日(金)までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
〃 8月15日(金)までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

- ・申込後の宿泊予約の取り消し、変更については上記旅行会社の「全建担当デスク」まで直接ご連絡下さい。

平成15年8月19日(火)～21日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	ホテルサンルート仙台	仙台市青葉区中央4-10-8 TEL：022-262-2323	シングル	30名	¥9,800
	仙台ワシントンホテル	仙台市青葉区大町2-2-10 TEL：022-222-2111		100名	¥8,800
	ホテルリッチフィールド仙台	仙台市青葉区国分町2-2-6 TEL：022-262-7755		50名	¥8,400
B	チサンホテル仙台	仙台市青葉区中央4-8-7 TEL：022-262-3211	シングル	80名	¥7,800
	仙台ビジネスホテル	仙台市青葉区上杉1-4-25 TEL：022-261-5711		50名	¥6,800
宿泊斡旋人数合計				310名	

朝食なしをご希望の方には、全てのホテルにおいて対応いたします。

- ・申込書の宿泊予約日にA又はBの記号を記入願います。
- ・グループ内でのホテルの選択は先着順で斡旋いたしますのでご希望通りにならない場合がありますので予めご了承願います。宿舎が決定次第ご通知いたします。  
 (なお、朝食が不要な場合は、お申し込みの後お送りする「宿泊案内」をご覧ください。)

### 会場・宿舎案内図



#### 会場までの交通案内

- 地下鉄.....勾当台公園下車  
 「公園2」出口から徒歩10分
- バス.....JR 仙台駅前 29番のりばから所要約15分  
 「定禅寺通経由交通局・大学病院前」行  
 「仙台市民会館前」下車すぐ
- タクシー...JR 仙台駅から約10分



第476回建設技術講習会(これからの建設事業)申込書

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現場研修	宿泊予約日		
(フリガナ) 氏名 (参加者が女性の場合は番号を○囲みして下さい)	年齢		正会員	非会員			予約日にA・Bで記入して下さい		
							8 / 19	8 / 20	8 / 21
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
<b>聴講料</b> 正会員・特別会員・賛助会員 名×7,600円 = 円 " (昼食不要) 名×6,000円 = 円 非会員 名×12,600円 = 円 " (昼食不要) 名×11,000円 = 円 現場研修料 名×6,000円 = 円 計 円							<b>宿泊予約金</b> 泊×4,000円 計 円		

全建に振込

日本旅行に振込

〔申込にあたっての注意事項〕

宿泊予約の取り消し、変更については別記旅行会社に直接ご連絡願います。  
 申込金を銀行送金される場合、銀行振込の(写)を申込書に必ず添付して下さい。  
 申込の締め切り日は平成15年7月22日(火)です。  
 幹旋します宿舎は1泊朝食付きです。  
 特別会員・賛助会員の方は正会員(聴講者別欄)の枠内に 印を記入して下さい。

(昼食について)

昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。  
 当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。  
 現場研修の昼食について：  
 現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。